



◀ 裏面

◀ 表面

種 別	市指定 有形文化財 (歴史資料)
名 称	わかがみ (ばいかそうじゃくきょう) 和鏡 (梅花双雀鏡)
員 数	1面
大 き さ	直径:10.6cm 厚さ(外縁部):0.7cm 重量:109.8g
指定年月日	昭和59年7月1日
所 有 者	個人
所 在 地	むつ市

伝承では、室町中期におきた蛸崎の乱の後、蛸崎方であった、畑中・越後・倉田・安藤・唐(現在は山田)の5氏が、蛸崎より山越えをして高梨に落ちてきた時の所持品と言われている。

草花や鳥を主題に作られた和鏡は銅製で、内区には梅の花と2羽の飛雀をかたどっており、外区には鋸歯状と刻目が施され、亀座紐である。外縁はやや高く直立する。